

関西学院大学大学院 2024年度 第2次 社会学研究科 入学試験問題

試験科目	社会学専攻	専門科目
試験時間	90分	1 / 1
	辞書の使用は認めない	

解答は、別紙に記入すること。

I. 次の4問の中から1つを選んで答えなさい。(30点)

- A. 「自己」に関する社会学的研究の系譜を説明したうえで、現代社会における自己の特徴について論じなさい。【社会学】
- B. 「記憶」を社会学的に研究する場合、どのような視座とアプローチが可能かについて、具体的な事例を挙げながら論じなさい。【社会学】
- C. 親族論の観点から日本のイエ（家）の特徴を説明したうえで、他の東アジア社会の家族と比較せよ。【文化人類学・民俗学】
- D. 個人の判断・行動というマイクロなデータと、それらが蓄積された集合的結末としての社会の状態というマクロなデータを採用した分析（マルチレベルモデリング）を行う際の留意点について説明せよ。【社会心理学】

II. 次の4問の中から1つを選んで答えなさい。(30点)

- A. 社会問題を1つ取り上げてその概要を説明したうえで、あなたが研究する場合の社会学的な認識枠組みと研究方法について論じなさい。【社会学】
- B. 当事者研究の社会学的な意義を、具体的な研究事例に言及しつつ論じなさい。【社会学】
- C. 観光が伝統的な文化に及ぼした影響について論じよ。ここでいう文化とは、民族をはじめとする特定の間人間の生活様式全体を指す。【文化人類学・民俗学】
- D. 援助行動に関する研究において、他者から援助された先行経験を持つ個人は別の他者に対して援助行動を起こしやすいことが知られる。この理由について、進化心理学の観点から説明せよ。【社会心理学】

III. 次の用語の中から4つを選んで説明しなさい。(10点×4)

1. ポピュリズム (populism) 【社会学】
2. 医療化 (medicalization) 【社会学】
3. 集合表象 (collective representation) 【社会学】
4. 優生学 (eugenics) 【社会学】
5. パターナリズム (paternalism) 【社会学】
6. 民族学と民俗学 (ethnology and folklore) 【文化人類学・民俗学】
7. 文化遺産 (cultural heritage) 【文化人類学・民俗学】
8. 父系出自と母系出自 (patrilineal descent and matrilineal descent) 【文化人類学・民俗学】
9. ハビトゥス (habitus) 【文化人類学・民俗学/社会学】
10. 宮本常一 (T. Miyamoto) 【文化人類学・民俗学】
11. Kahneman の直観 (システム1) と推論 (システム2) (Kahneman's system1 & system2) 【社会心理学】
12. 規範的影響と情報的影響 (norm influence & informational influence) 【社会心理学】
13. 道徳基盤理論 (moral foundation theory) 【社会心理学】
14. 最小条件集団パラダイム (minimal group paradigm) 【社会心理学】
15. 文化的自己観 (cultural view of self) 【社会心理学】

出題の意図

I. II.

社会学、社会心理学、文化人類学・民俗学の中から一つの分野を選び、設定された特定の論点について専門知識を用いて論理的に議論を展開できるかを問う。

III.

社会学、社会心理学、文化人類学・民俗学における基本的な概念・用語について、十分な知識を持っているかを問う。